

2018年1月31日
第124号
(Web版第18号)

日本犯罪社会学会ニュース

発行

日本犯罪社会学会
JAPANESE ASSOCIATION OF
SOCIOLOGICAL CRIMINOLOGY

- I 新会長挨拶
 - II 第16期理事会・学会事務局の体制について
 - III 第45回(2018年度)大会「テーマセッション」企画の募集について
 - IV 第45回(2018年度)大会自由報告募集
 - V 犯罪学講座の開催について
 - VI 「第17回日本犯罪社会学会奨励賞」対象研究業績の応募について
 - VII 選挙管理委員会報告
 - VIII 理事会開催報告
 - IX 第44回総会シンポジウム開催報告
 - X 国際学会の大会情報について
 - XI 各部・委員会報告
 - XII 会務報告の訂正
 - XIII 会員名簿の訂正
- 付 会計資料

※第107号からニューズレターはWebのみで発行しております。

※会員動向につきましては、年間2回、会員のみに詳細版を郵送いたします。

I 新会長挨拶

次世代の犯罪学 ～日本犯罪学のバトンタッチ～

日本犯罪社会学会
第16期会長 石塚伸一

第15期に続き日本犯罪社会学会の会長に就任しました。当学会は、1974年、20世紀初頭から社会病理現象を研究していた社会学と第2次大戦後の刑事法学の新たな潮流とが合流し、犯罪社会学の発展・普及および研究者相互の連携・協力を目的に設立されました。爾来、研究者と実務家とが、現実の犯罪現象をめぐって自由闊達な議論する「場」として発展してきました。

前期は、「会員500人の達成」、「研究と教育と社会貢献という学術の発展の基盤形成」そして「犯罪学の研究・教育の教学主体の創設」の3つの目標を掲げて活動してきました。スローガンは、「I have three dreams. Near future they will come true. Shall we do criminology?」、「3つの夢を実現し、多くの人と犯罪学を共に学んでいこう」でした。結局、どのひとつも実現することはできませんでした。忸怩たる思いがあります。すべてが「道半ば」ではありますが、日本の犯罪社会学研究のポテンシャルを具体的なかたちにして、つぎの時代にバトンタッチするために、再任をお引き受けすることにしました。

この間、多くの方の協力を得て、会費値上げによる財政基盤の確立、桐蔭横浜大学および甲南大学における学術大会の開催、そして、國學院大学における犯罪関連学会合同大会の共同開催、龍谷大学での総会開催を行なうことができました。理事・委員・スタッフ等には、こころよりお礼申し上げます。

あるひとつの学科（ディシプリン）が「通常科学（サイエンス）」として確立するためには、「研究と教育と社会貢献という学術の発展サイクル」を構築し、学的営みの成果である「知」を次世代へとバトンを手渡していくことが必要です。第16期は、「科学化」と「国際化」を新たな目標に加え、日本型犯罪学カリキュラムの構築と犯罪学リテラシーの向上、日本犯罪学情報の発信によって、犯罪学的「知」を現実社会に実装していきたいと考えます。

微力ではありますが、みなさまと一緒に、日本の犯罪学・刑事政策学の発展に寄与していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上
2018年1月6日 東京品川 立正大学にて

II 第16期理事会・学会事務局の体制について

1. 理事会において互選された常任理事および担当は下記の通りです。

会長：石塚伸一

（副会長）：谷岡一郎

本部事務局庶務部：田中智仁（部長）、佐々木光明

本部事務局会計部：山本功（部長）

研究委員会：野田陽子（委員長）、本庄武、山口直也

編集委員会：原田豊（委員長）、岡邊健

企画調整員会：津富宏（委員長）、松原英世

渉外広報委員会：浜井浩一（委員長）、笹倉香奈、平山真理

なお、常任以外の理事は下記の通りです。（）内は担当です。

大庭絵里（研究委員会・編集委員会）、河合幹雄（編集委員会関東幹事）、葛野尋之、久保貴（研究委員会・奨励賞選考委員長）、小長井賀與（本部事務局会計部）、染田恵、津島昌寛（編集委員会関西幹事）、土井政和（奨励賞選考委員会）、服部朗（編集委員会）、福島至（研究委員会）

2. 下記の会員が石塚伸一会長より委員に委嘱されました。（）内は担当です。

暮井真絵子（本部事務局庶務部）、高橋有紀（本部事務局庶務部）、丸山泰弘（本部事務局庶務部）、相良翔（本部事務局会計部）、岡村逸郎（本部事務局会計部）、大谷彬矩（研究委員会）、竹中祐二（研究委員会）、橋場典子（研究委員会）、藤原佑貴（研究委員会）、水藤昌彦（研究委員会）、森久智江（研究委員会）、相澤育郎（編集委員会）、赤羽由起夫（編集委員会）、秋本光陽（編集委員会）、今井聖（編集委員会）、加藤倫子（編集委員会）、上田光明（編集委員会・企画調整委員会）、大塚英理子（企画調整委員会）、作田誠一郎（編集委員会・企画調整委員会）、松川杏寧（企画調整委員会）、小関慶太（渉外広報委員会）

3. 下記の会員が石塚伸一会長より編集委員に委嘱されました。

<編集委員会委員>

原田豊（編集委員長）、岡邊健、大庭絵里、河合幹雄、小長井賀與、平山真理、渡邊一弘、津島昌寛、服部朗、松原英世、赤羽由起夫、秋本光陽、今井聖、加藤倫子、相澤育郎、上田光明、作田誠一郎、朝田佳尚、岡田和也、齊藤知範、阪口祐介、櫻井悟史、柴田守、生島浩、新海浩之、武内謙治、竹原幸太、辰野文理、津富宏、仲野由佳理、宝月誠、本庄武、丸山泰弘、宮澤節生、山口毅、山口直也、山本奈生

<関東幹事会>

原田豊（編集委員長）、大庭絵里、河合幹雄、小長井賀與、平山真理、渡邊一弘、赤羽由起夫、秋本光陽、今井聖、加藤倫子

<関西幹事会>

原田豊（編集委員長）、岡邊健、津島昌寛、服部朗、松原英世、相澤育郎、上田光明、作田誠一郎

Ⅲ 第45回（2018年度）大会「テーマセッション」企画の募集について

第45回大会は2018年10月20日（土）から21日（日）に、西南学院大学（福岡県福岡市早良区）で開催されます。研究委員会では、テーマセッションの企画を会員の皆様より募集します。犯罪社会学あるいは周辺諸分野について現在関心をお持ちのテーマがありましたら、奮ってご応募ください。

なお現時点では、テーマセッションの開催される日と時間帯は未定です。また、第36回大会より、それまでのミニシンポジウムとラウンドテーブル・ディスカッションの区分を廃し、統一して「テーマセッション」として開催しております。

●申込方法：電子メールにて、以下の項目をお知らせください。

・ Subject (件名) : テーマセッション申込み

・ 本文

申込者氏名 (所属) :

企画タイトル :

セッション形式 : ミニシンポジウム or ラウンドテーブル・ディスカッション

プロジェクトの要否 :

※大学に所属のある場合、教員等は「〇〇大学」、大学院生は「〇〇大学大学院」と記載してください。

●申込先アドレス : hansha.kenkyu2018@gmail.com

※学会事務局など、上記以外への申込みはご遠慮ください。

●申込期限 : 2018年3月20日(火) 必着

●問い合わせ先 : 日本犯罪社会学会研究委員会 (担当委員 : 水藤 昌彦)

電子メールアドレス : hansha.kenkyu2018@gmail.com

●連絡事項 :

*各テーマセッションの時間として 180 分を確保します。

*形式は、ラウンドテーブル・ディスカッション、ミニシンポジウムのどちらでも結構です。申込みの際、希望の形式をお知らせください。

*報告者・話題提供者等は、申込みの段階では未定でも構いません。

*プロジェクトの使用を希望される場合は、その旨を申込みの際にお知らせください。なお、大会当日に報告者ご自身でご持参いただく機材 (PC、USB メモリ等) については、使用会場の設備が決定次第、研究委員会からご連絡します。

*申込みを受理しましたら、今後の予定などについて、研究委員会より折り返しご連絡します。この連絡がないときは、メールの不調などが理由で申込みが不着であることが考えられます。その場合は、お手数ですが、確認のご連絡をくださいますようお願いいたします。

*プログラム構成上の制約により大会期間中に開催できるテーマセッションの数には限りがあるため、応募が多数であった場合は調整させていただくことがあり得ます。応募が受理できない場合は、研究委員会より 4 月末までにその旨をご連絡いたします。

*テーマセッション開催日時指定はできません。ご了承ください。

IV 第 45 回 (2018 年度) 大会 自由報告募集

研究委員会では、会員の皆様の自由報告を募集します。

●申込方法 : 電子メールにて、以下の項目をお知らせください。

・ Subject (件名) : 自由報告申込み

・ 本文

申込者氏名 (所属) :

共同研究者氏名 (所属) :

報告タイトル :

プロジェクトの要否 :

※大会プログラムに掲載する報告概要原稿 (150 字以上 200 字以内) を添付してください。

※大学に所属のある場合、教員等は「〇〇大学」、大学院生は「〇〇大学大学院」と記載してください。

※グループの場合、当日報告される方の氏名の前に「○」をつけてください。

※申込者及び報告者は、会員に限ります。

●申込先アドレス：hansha.kenkyu2018@gmail.com

※学会事務局など、上記以外へのお申込みはご遠慮ください。

●申込期限：2018年6月1日（金）必着

●問い合わせ先：日本犯罪社会学会研究委員会（担当委員：水藤 昌彦）

電子メールアドレス：hansha.kenkyu2018@gmail.com

●連絡事項：

*自由報告は1名でもグループでも申し込めます。

*申込者と報告者は会員に限ります。共同研究者は非会員でも構いませんが、当日の報告はできません。

*1件の申込みにつき1つの報告となります。

*会員1名につき、申込み及び報告は1件までとなります。ただし、他の報告者の共同研究者となることは妨げません。

*報告時間は1件30分以内（報告時間：20分程度、質疑応答：10分程度）となります。共同研究者がいる場合でも、報告時間は変わりませんのでご注意ください。

*申込みの時点で大会プログラムに掲載する報告概要の原稿（150字以上200字以内）をご提出ください。提出された報告概要原稿は、原則として修正できません。

*大会プログラムに掲載された報告概要の著作権は、日本犯罪社会学会に帰属します。

*プロジェクトの使用を希望される場合は、その旨を申込みの際にお知らせください。なお、大会当日に報告者ご自身でご持参いただく機材（PC、USBメモリ等）については、使用会場の設備が決定次第、研究委員会からご連絡します。

*申込みを受理しましたら、今後の予定などについて、研究委員会より折り返しご連絡します。この連絡がないときは、メールの不調などが理由で申込みが不着であることが考えられます。その場合は、お手数ですが、確認のご連絡をくださいますようお願いいたします。

*自由報告実施の日時や会場の指定はできません。ご了承ください。

V 犯罪学講座の開催について

2018年5月に来日予定の、著名な犯罪学者 David Weisburd 教授（George Mason University/Hebrew University）をお招きし、「Evidence Based Policy: Why is it important for researchers and policy makers?」というテーマの犯罪学講座を5月初旬の京都で実施予定です。エビデンスに基づいた刑事政策に興味を持つ研究者や実務家の方を対象とした講座にしたいと考えております。Weisburd 教授は、空間犯罪学（place-based criminology）、実験犯罪学（experimental criminology）、ホワイトカラー犯罪をテーマとした研究業績を多数お持ちで、2010年にはストックホルム犯罪学賞を受賞しておられます。

詳細につきましては、今後、日本犯罪社会学会ホームページ等で告知予定です。

VI 「第17回日本犯罪社会学会奨励賞」対象研究業績の応募について

日本犯罪社会学会では、犯罪、非行、刑事司法、及び、それらに関連する諸事象に関する社会科学的研究の活性化と発展のため、そして、知的資産の不断の蓄積および学術内容の更なる質的向上

のため（特に若手研究者への刺激と登龍門として）、「日本犯罪社会学会奨励賞」を創設し、受賞研究業績を選考し表彰しております。

2018年度は、著書が選考対象となる年です。2016年4月から2018年3月までに公表された、原則として満40歳以下の会員（受賞時点で会員であること）による著書の自薦・他薦を募集いたします。ノミネートの期限は2018年3月31日（消印有効）です。詳細は学会ホームページの「奨励賞規約」（<http://hansha.daishodai.ac.jp/promotion/index.html>）をご覧ください。

自薦・他薦いただく際には、以下の情報を記した書面とともに、選考対象著書を5部、学会事務局宛ご送付いただくようお願いいたします。封筒に「奨励賞応募著書在中」とご明記ください。なお、応募された著書5部は返却いたしません。

- 1) 選考対象の著者名（フリガナ）、連絡先住所、電話番号、メールアドレス
- 2) 選考対象者の生年月日
- 3) 選考対象著書名、出版社名、出版年月日
- 4) 他薦の際には、推薦者の連絡先住所、電話番号、メールアドレス

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町 3-1-35 学術センター U-Box 2F

Ⅶ 選挙管理委員会報告

2017年度理事選挙の経過及び結果は、以下の通りです。

〈経過〉

- ・第15期第8回常任理事会にて、選挙管理委員の候補者を決定し、以下の6名に委嘱された。
理事からの委嘱者：赤池一将、大庭絵里、渡邊一弘の3名（50音順、敬称略）
理事以外からの委嘱者：暮井真絵子、野田陽子、矢島正見の3名（50音順、敬称略）
- ・2017年3月8日（水）第1回選挙管理委員会を開催した。選挙管理委員長を矢島正見に決定した。
- ・同年5月27日（土）現在の会費納入等に関する報告を元に選挙名簿を確定した。
- ・同年6月11日（日）投票用紙等選挙関係書類一式を選挙権者計438名に発送した。投票の締切りは、同年7月9日（日）とし、当日消印を有効とした。
- ・同年7月16日（日）事務局に送付された計100名分の投票用紙の開票作業を行った。
理事は、投票権者438名のうち、東日本地区271名（約61.9%）から15名選出、西日本地区167名（約38.1%）から10名選出することを確認した。

〈開票結果〉

投票総数994票のうち、有効票は990票（白票57票を含む）、無効票は4票であった。
投票率は約22.3%（438名中100名）であった。

〈第16期理事就任者〉（選挙区別、五十音順、敬称略）

・東日本地区（15名）

石塚伸一、大庭絵里、河合幹雄、葛野尋之、久保貴、小長井賀與、佐々木光明、染田恵、田中智仁、津富宏、野田陽子、原田豊、平山真理、本庄武、山本功

・西日本地区（10名）

岡邊健、笹倉香奈、谷岡一郎、津島昌寛、土井政和、服部朗、浜井浩一、福島至、松原英世、山口直也

Ⅷ 理事会開催報告

2017年10月20日（金）の16:00から、龍谷大学深草キャンパス紫光館5階会議室にて、第15期第5回全国理事会が開かれ、総会に発議・報告する事案についての検討が行われました。

開会時点において、出席理事数10名、委任状提出理事14名の計24名であり、定足数を満たしていることが確認されました。

1. 審議案件は以下のとおりでした。

(1) 2016年度一般会計決算案、2016年度特別会計決算案について渡邊会計理事より提議され、承認されました。(2) 2016年度一般会計監査について野田監事より会計事務が適正に執行されているとの監査結果が報告され、承認されました。(3) 2017年度一般会計補正予算案・2018年度一般会計予算案、2018年度特別会計予算案について渡邊会計理事より提議され、承認されました。(4) 2018年度若手研究者海外派遣補助事業の要項について小関渉外広報委員（委員長代理）より2018年度若手研究者海外派遣補助事業について提議され、承認されました。(5) 人文社会科学系協会男女共同参画推進連絡会への参加について、石塚会長より渉外広報委員会担当のもと参加すると提議され、承認されました。(6) 名誉会員の承認について、宮澤節生会員と瀬川晃会員を推挙することが佐々木庶務理事より提議され、承認されました。なお、新入会員の入会承認に関する提議はありませんでした。

2. 報告事項は以下のとおりでした。

(1) 選挙管理委員会監査報告では矢島選挙管理委員長より、第16期理事選挙の経過および結果が報告されました。(2) 奨励賞の選考結果について佐々木庶務理事（奨励賞選考委員長代理）より、本年度の奨励賞選考過程について詳細な説明があり「受賞作なし」としたことが報告されました。(3) 第43回大会会計報告について2016年10月に行われた第43回大会実行委員長の前田会員より会計報告がなされました。(4) 各部・委員会報告では、各部・委員会から1年間の活動について報告しました。最後に、石塚会長から、第45回大会開催校は西南学院大学であり、大会実行委員長は平井佐和子会員であることが報告されました。また、第45回大会実行委員長挨拶として平井佐和子会員の挨拶が代読されました。

Ⅸ 第44回総会シンポジウム開催報告

2017年10月21日（土）に龍谷大学深草キャンパス22号館101教室にて11時00から第44回総会が開かれました。本部事務局庶務部が開会を宣言し、総会議長に森久智江会員と赤羽由起夫会員が選出され、審議案件と報告事項は総会議長によって議事進行が行われました。

1. 審議案件は以下のとおりでした。

(1) 2016年度一般会計決算案、2016年度特別会計決算案について城下会計理事より提議され、承認されました。(2) 2016年度一般会計監査について矢島監事より会計事務が適正に執行されて

いるとの監査結果が報告され、承認されました。(3) 2017年度一般会計補正予算案・2018年度一般会計予算案、2018年度特別会計予算案について城下会計理事より提議され、承認されました。(4) 名誉会員の承認について、宮澤節生会員と瀬川晃会員を推挙することが石塚会長より提議され、承認されました。

2. 報告事項は以下のとおりでした。

(1) 第15期理事選挙結果について、矢島選挙管理委員長より理事選挙の経過および結果が報告されました。(2) 学会奨励賞選考結果について、佐々木庶務理事(奨励賞選考委員長代理)より審査結果が報告され、「受賞作なし」としたことが報告されました。(3) 第43回大会会計報告について2016年10月に行われた第43回大会実行委員長の前田会員より会計報告がなされました。

(4) 人文社会科学系協会男女共同参画推進連絡会への参加について、石塚会長より渉外広報委員会担当のもと参加することが報告されました。(5) 各部・委員会報告では、各部・委員会から1年間の活動について報告がありました。

次に、第16期会長を石塚伸一会員に決定したことが石塚会長より報告され、石塚新会長から挨拶がありました。続いて、監事を前田忠弘会員と松宮孝明会員に決定したことが石塚新会長から報告されました。最後に、第45回大会開催校は西南学院大学であり、大会実行委員長は平井佐和子会員であることが報告され、大会実行委員長挨拶が佐々木庶務理事によって代読されました。

以上の議事を終え、本部事務局庶務部が閉会を宣言しました。

3. 公開シンポジウムの開催

総会閉会后、龍谷大学深草キャンパス22号館101教室にて13時00から公開シンポジウム「人はなぜ暴力を振るうのか、その対策とは」が龍谷大学矯正・保護総合センター、龍谷大学犯罪学研究センター、科学研究費補助金、龍谷大学社会科学研究所との共催で開催されました。ペンシルベニア大学のエイドリアン・レイン教授の基調講演「暴力の解剖学」に続き、休憩時間にはサイン会が開催され、多くの参加者が列を成しました。

15時00分からは浜井浩一会員(龍谷大学)による司会のもとシンポジウム「日欧比較：女性に対する暴力被害調査」が開催され、下記の報告および指定討論がありました。

- ・サミ・ネバラ氏(ヨーロッパ連合基本的人権機関)
「EUが実施した女性に対する暴力被害調査の目的と成果」
- ・浜井浩一会員(龍谷大学)
「日本の調査実施プロセス」
- ・津島昌寛会員(龍谷大学)
「日本調査からわかったこと」

指定討論 岩井宜子名誉会員(専修大学)

以上のプログラムを終え、18時00分に閉会しました。

X 国際学会の大会情報について

渉外広報委員会では、若手研究者海外派遣補助事業を行っています。詳細は、渉外広報委員会報告事項欄及び学会ホームページ(<http://hansha.daishodai.ac.jp/subsidy/index.html>)をご確認ください。

学会名	アジア犯罪学会
2018年度開催予定	6月24日(日)～28日(木)

開催地	マレーシア・ペナン
詳細	www.acs001.com

学会名	ヨーロッパ犯罪学会
2018年度開催予定	8月29日(水)～9月1日(土)
開催地	ボスニアヘルツェゴビナ・サラエボ
詳細	http://www.esc-eurocrim.org/index.php/conferences/upcoming-conferences

学会名	アメリカ犯罪学会
2018年度開催予定	11月14日(水)～17日(土)
開催地	ジョージア・アトランタ
詳細	https://asc41.com/Annual_Meeting/ascanmeet.htm

XI 各部・委員会報告

1 研究委員会

第45回大会は2018年10月20日(土)から21日(日)に、西南学院大学(福岡県福岡市早良区)で開催されます。詳細が決まりましたら、ニューズレター及び学会ウェブサイトでお知らせします。

『日本犯罪社会学会第44回大会報告要旨集』が、学会ウェブサイトにもアップロードされました。詳細は学会ホームページの「大会報告要旨集」

(http://hansha.daishodai.ac.jp/meeting_reports/index.html)をご覧ください。

2 編集委員会

『犯罪社会学研究』42号が発行されました。皆様のご協力に感謝いたします。

43号の自由論文・研究ノートの記事締切りは2018年5月31日必着です。HPおよび犯罪社会学研究に掲載されている投稿規程に従って、下記住所宛にご送付ください。なお、投稿は常時受け付けております。会員の皆様のご投稿をお待ちしております。

本誌が犯罪社会学の自由な学術フォーラムとなることを期待しています。

<自由論文・研究ノートの投稿先>

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10 八ッ橋ビル7階 現代人文社気付
日本犯罪社会学会編集委員会

学会誌編集業務に関するご意見・ご質問につきましては、下記までお寄せください。

<編集委員会事務局>

hanshahenshu16@gmail.com

3 渉外広報委員会

(1) 若手研究者海外派遣補助事業

今回は派遣対象をアジア犯罪学会（マレーシア・ペナン、6月開催）、ヨーロッパ犯罪学会（ボスニアヘルツェゴビナ・サラエボ、8-9月開催）、アメリカ犯罪学会（ジョージア・アトランタ、11月開催）に拡大し、各学会で研究報告を行う若手研究者を対象として、渡航費用の一部を補助いたします。補助費用の上限は10万円、募集人数は3名程度、応募締切は2018年3月末日となっております。

詳細については学会ホームページ（<http://hansha.daishodai.ac.jp/subsidy/index.html>）をご参照のうえ、奮ってご応募ください。

(2) 研究会助成及び若手研究者海外派遣補助事業について

渉外広報委員会では、犯罪社会学に関する研究会に対し、助成を行っております。年度ごとに2件、1件あたりの助成金は40,000円です。詳しくは学会ホームページをご参照のうえ、奮ってご応募下さい。

4 企画調整委員会

2018年度中の企画調整の主な活動方針として、以下のような活動に取り組む予定です。

- (1) 学会誌と大会当日プログラムに掲載する広告の募集、受付、編集〔継続〕
- (2) 犯罪学講座開発についての検討〔新規〕

また、任期3年間の活動方針として、以下のような活動に取り組む予定です。

- (1) 学会誌と大会当日プログラムに掲載する広告の安定的な確保
- (2) 犯罪学講座の開発

5 本部事務局会計部

会費納入のお願い

まだ2017年度の会費をお支払い頂いていない方は、郵便振込にて会費を納入されるようお願い申し上げます。金額、口座番号および口座名は下記の通りです。

また、領収書をご希望の方は払込票の通信欄にその旨を記入して下さい。

通常会員 8,000円

但し、院生会員 6,000円（大学院に在籍し、かつ常勤の職を有しない会員）

国外会員 7,000円（国外に在住し、かつ国内に連絡先を有しない会員）

郵便振替口座 00950-2-148284

加入者名 日本犯罪社会学会

会費を3年未納となりますと年度末で退会扱いとなります。滞納されていて会員の資格についてご確認なされたい方、また退会をお考えの方は、その旨を事務局まで御一報下さい。

なお、銀行振込や小切手での会費の支払いは受け付けておりませんのでご注意下さい。

6 本部事務局庶務部

(1) 献本（2017年9月21日～2018年12月19日現在）

下記の通り献本がありました。ご報告少々、お礼申し上げます。

- ・科学警察研究所『科学警察研究所報告』第66巻第2号

- ・警察政策研究センター『警察政策研究』第20号
- ・法務総合研究所編『平成29年度 犯罪白書』
- ・岡本英生、松原英世、岡邊健『犯罪学リテラシー』法律文化社
- ・太田達也『仮釈放の理論 矯正・保護の連携と再犯防止』慶應義塾大学出版会

以上5冊

(2) 会員数(2017年12月27日現在)

一般会員474名、名誉会員13名、終身会員1名、特別会員2団体、合計489名

※個人情報保護のため、ニューズレターの記載は人数のみとします。会員各位には、年間2回、会員動向の詳細版を郵送いたします。

XII 会務報告の訂正

『犯罪社会学研究』No.42の202頁「会務報告」記載の「日本犯罪社会学会奨励賞」につき、誤った記載がありました。下記のように訂正をいたします。平井秀幸会員および会員の皆様に謹んでお詫び申し上げます。

(誤) 第15回日本犯罪社会学会奨励賞は、該当者なしでした。

↓

(正) 第15回日本犯罪社会学会奨励賞は、平井秀幸会員が受賞しました。

【受賞作】平井秀幸『刑務所処遇の社会学—認知行動療法・新自由主義的規律・統治性』世織書房、2015年刊

XIII 会員名簿の訂正

会員名簿(2017年)の中扉ページに誤った記載がありました。下記のように訂正をいたします。会員の皆様に謹んでお詫び申し上げます。

(誤) 倫理綱領

↓

(正) 倫理綱領

お願い

転勤等で所属や連絡先を変更された場合は、学会事務局まで速やかにご連絡下さい。

事務局では、会員の皆様からのご意見、ご要望、インフォメーションなど随時承っております。

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

TEL : 06-6618-4324 (月～金 10:00-16:00)

FAX : 06-6781-8883

E-mail : hansha@daishodai.ac.jp

*お問い合わせ・ご連絡は、なるべくメールでお願いいたします。
.....

付

日本犯罪社会学会2016年度一般会計決算(案)

収入費目	内 訳	2016年度決算	2016年度補正予算	2016年度予算	
収入	学 会 費	通常会員:466名中453件(内一般418件、院 生35件)97.2%、3,192,000円 (特別会員) 日工組社会安全研究財団:200,000円 龍谷大学矯正・保護総合センター:50,000円	3,442,000	3,154,300	3,154,300
	寄 付 金	なし	0	0	100,000
	機 関 誌 売 上 代	機関誌41号(11冊)	36,828	60,000	60,000
	広 告	学文社、現代人文社、成文堂、日本評論社、 法律文化社、有斐閣:各15,000円	90,000	60,000	60,000
	預 貯 金 利 息	ゆうちょ:343円、銀行口座:4円	347	1,000	1,000
小 計		3,569,175	3,275,300	3,375,300	
前 年 度 繰 越 金		4,383,291	4,383,291	4,245,921	
合 計		7,952,466	7,658,591	7,621,221	

支出費目	内 訳	2016年度決算	2016年度補正予算	2016年度予算	
支出	印 刷 費	ニュース・会合通知・資料等印刷、コピー費	64,520	80,000	80,000
	通 信 ・ 交 通 費	ニュース・機関誌等郵送料、交通費、連絡費	1,094,968	982,900	1,051,600
	会 議 ・ 会 合 費	理事会・各委員会・事務各種作業打ち合わ せ、部内研究会	29,291	55,000	60,000
	備 品 ・ 消 耗 品 費	事務用備品、封筒等消耗品	30,059	33,000	33,000
	人 件 費	学会事務、ニュース・機関誌発送アルバイト	196,100	350,000	350,000
	謝 金	大阪商業大学事務局への謝礼	0	0	18,000
	大 会 準 備 関 係 費	プログラムの印刷発送、大会準備に要する 費用	233,577	344,580	400,000
	大 会 報 告 要 旨 集	大会報告要旨集の印刷	0	0	20,000
	大 会 補 助 費	大会開催校への大会運営補助金	100,000	100,000	100,000
	機 関 誌 買 上 費	機関誌41号作成経費、抜き刷り印刷費	1,201,932	1,190,000	1,190,000
	選 挙 関 係 積 立 費	理事選挙費用、名簿作成のための積立金	131,000	131,000	131,000
	そ の 他	労災保険料、慶弔費	2,404	1,000	1,000
	小 計		3,083,851	3,267,480	3,434,600
予 備 費		4,868,615	4,391,111	4,186,621	
合 計		7,952,466	7,658,591	7,621,221	

以上の通り、一般会計に関してご報告致します。

会計理事
会計理事

2017年10月21日
城下 裕二

渡邊 一弘

監査の結果、一般会計収支決算に誤りのないことを認めます。

監 事
監 事

2017年10月21日

矢島 正見

野田 陽子

日本犯罪社会学会2016年度選挙関係特別会計決算(案)

収入費目	内訳	2016年度決算	2016年度予算
選挙関係積立費	2015年度残高	408,444	408,444
	2016年度積立金	131,000	131,000
預貯金利息		87	100
合計		539,531	539,544

支出費目	内訳	2016年度決算	2016年度予算
選挙関係費		0	0
積立金繰越金		539,531	408,507
合計		539,531	408,507

日本犯罪社会学会2016年度奨励賞基金特別会計決算(案)

収入費目	内訳	収入額
寄付	なし	0
前年度繰越金	2016年度寄付金残高	639,228
預貯金利息		5
収入合計		639,233

支出費目	内訳	支出額
賞金	副賞	100,000
通信・交通費	奨励賞送付料金	860
備品・消耗品費	祝儀袋代・賞状・賞状筒代 (送料・代引手数料込み)	4,806
支出小計		105,666
次年度繰越金		533,567
支出合計		639,233

日本犯罪社会学会2016年度研究特別基金会計決算(案)

収入費目	内訳	収入額
預貯金利息		12
前年度繰越金		1,519,675
収入合計		1,519,687

支出費目	内訳	支出額
研究会補助費	赤池会員、小長井会員	80,000
通信・交通費	振込手数料	1,080
若手研究者海外派遣補助費		50,000
次年度繰越金		1,388,607
支出合計		1,519,687

以上の通り、特別会計に関してご報告致します。

会計理事

会計理事

監査の結果、特別会計収支決算に誤りのないことを認めます。

監事

監事

2017年10月21日

城下 裕二

渡邊 一弘

2017年10月21日

矢島 正見

野田 陽子

日本犯罪社会学会2017年度一般会計補正予算(案) 2018年度予算(案)

収入費目	内 訳	2018年度予算	2017年度補正予算	2017年度予算	
収入	学 会 費	(通常会員) 466名(内一般429件、院生34件、 国外3件)90% 2,892,600円 (特別会員) 日工組社会安全研究財団200,000 円 龍谷大学矯正・保護総合センター 50,000円	3,541,300	3,142,600	3,142,600
	寄 付 金		0	0	0
	機 関 誌 売 上 代	機関誌売上	60,000	60,000	60,000
	広 告	出版社等広告	60,000	60,000	60,000
	預 貯 金 利 息		1,000	1,000	1,000
	小 計		3,662,300	3,263,600	3,263,600
前 年 度 繰 越 金		4,922,615	4,868,615	4,391,111	
合 計		8,584,915	8,132,215	7,654,711	

支出費目	内 訳	2018年度予算	2017年度補正予算	2017年度予算	
支出	印 刷 費	ニュース・会合通知・資料等印刷、 コピー費	80,000	80,000	80,000
	通 信 ・ 交 通 費	ニュース・機関誌等郵送料、交通 費、連絡費	1,094,000	¥1,004,600	1,090,000
	会 議 ・ 会 合 費	理事会・各委員会・事務各種作業 打ち合わせ、部内研究会	60,000	60,000	60,000
	備 品 ・ 消 耗 品 費	事務用備品等消耗品購入	33,000	33,000	33,000
	人 件 費	学会本部事務、ニュース・機関誌 発送アルバイト代等	360,000	¥260,000	350,000
	謝 金	大阪商業大学事務局および大会 校事務局への謝礼	20,000	0	0
	大 会 準 備 関 係 費	プログラムの印刷発送、大会準備 に要する費用	350,000	350,000	350,000
	大 会 報 告 要 旨 集	大会報告要旨集の印刷	0	0	0
	大 会 補 助 費	大会開催校への大会運営補助	100,000	100,000	100,000
	機 関 誌 買 上 費	機関誌作成経費、抜き刷り印刷費	1,190,000	1,190,000	1,190,000
	選 挙 関 係 積 立 費	理事選挙費用、名簿作成のため の積立金	131,000	131,000	131,000
	そ の 他	労災保険料、慶弔費等	1,000	1,000	1,000
	小 計		3,419,000	3,209,600	3,385,000
	次 年 度 繰 越 金		5,165,915	4,922,615	4,269,711
合 計		8,584,915	8,132,215	7,654,711	

¥マークを付した箇所が補正予算による変更箇所

日本犯罪社会学会2018年度選挙関係特別会計予算(案)

収入費目	2018年度予算 内訳	収入額	2017年度予算 内訳	収入額	2016年度予算 内訳	収入額
選挙関係積立金	2017年度積立金残高	277,644	2016年度積立金残高	539,544	2015年度積立金残高	408,444
	2018年度積立金	131,000	2017年度積立金	131,000	2016年度積立金	131,000
預貯金利息		100		100		100
合計		408,744		670,644		539,544

支出費目	2018年度予算 内訳	支出額	2017年度予算 内訳	支出額	2016年度予算 内訳	支出額
選挙関係費	選挙名簿作成、会員名簿作成	0	選挙名簿作成、会員名簿作成	393,000	選挙名簿作成、会員名簿作成	0
繰越金		408,744		277,644		539,544
合計		408,744		670,644		539,544

日本犯罪社会学会2018年度奨励賞基金特別会計予算(案)

収入費目	内訳	収入額
繰越金	2017年度寄付金残高	419,667
預貯金利息		100
収入合計		419,767

支出費目	内訳	支出額
通信交通費	著作物郵送代	4,000
備品消耗品費	祝儀袋、賞状代	10,000
賞金	¥100,000×1人	100,000
次年度繰越金		305,767
支出合計		419,767

日本犯罪社会学会2018年度研究基金特別会計予算(案)

収入費目	内訳	収入額
繰越金	2017年度繰越金	1,008,707
預貯金利息		100
収入合計		1,008,807

支出費目	内訳	支出額
研究会補助費	40,000円×2件	80,000
若手研究者海外派遣補助事業	150,000円×2件	300,000
次年度繰越金		628,807
支出合計		1,008,807